

平成 22 年度

学校関係者評価表

坂町立坂小学校

評価項目	学校関係者評価
計画，目標等の設定の適切さ 計画（P）	<p>適当であると思います。</p> <p>確かな学力については，計画もとても出来ていると思います。</p> <p>「学力」面において読解の自立を目標に掲げ，達成度が 90% 近くになったことは，高く評価すべきだと思います。素晴らしいですね。</p> <p>生活面では「豊かな心の育成」を目標とし，「自分のよい所が言える」達成度が 90% 近くだったのは，人間形成において大切な時期に適切な設定であり，やはり高く評価できることと思います。この成果は子ども達自身にとっても大変嬉しいことではないでしょうか。</p>
実際の取組の適切さ 実践（D）	<p>適当と考えます。</p> <p>読回の手引きを作成することで，説明の意味について考える児童が増えたことから，取組が適切であったがうかがえる。</p> <p>生徒指導「家庭学習の習慣を定着させる」で活用された「生活リズムカード」を自分で考え作成することで意識も高まり，保護者の協力を得られたことも加わって，とても成果が上がっていることに感心いたしました。</p> <p>「読書量」においても達成度が伸びていて喜ばしいことだと思います。が，低学年で「まだ，自主的に図書室に行かせていない。」クラスがあるということが少し気になりました。</p>
自己評価の結果の内容の適切さ 評価（C）	<p>自己に対する反省態度の厳しさは立派だと思いますが，ゆるめる部分があってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>6年生に対する 50 冊は，非常に厳しいように感じました。</p> <p>どの項目の評価もとても適切に分析，判断されていると思います。</p> <p>文章を通じて先生方のご努力を垣間見ることができ，頭が下がる思いです。一日一日成長していく子ども達にとって毎日の積み重ねが大事であることを痛感致します。</p>
今後の改善策の適切さ 改善（A）	<p>すばらしい先生方の指導を受けられることができ子ども達も保護者もとても喜んでいきます。</p> <p>1 項目ずつ具体的な目標を細かく定めるのも一つの方法だと思います。</p> <p>「国語」も「算数」とも指導方法の改善の成果が着実に結果として表れていて，その指導力に感嘆しています。「聞く」「聞き取る」という大切な習慣をそのまま持続し，しっかり身に付けて欲しいと願っています。</p>

※学校評議員・学校関係者評価委員

玉澤 隆志

車地 健二

下花 みどり

※学校関係者評価委員

金子 建治